

## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月23日

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 4929 URL <http://www.adjuvant.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月30日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年3月21日～平成26年12月20日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,420	△5.5	692	△29.6	716	△27.6	404	△31.4
26年3月期第3四半期	3,619	0.7	983	0.8	989	6.7	589	10.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 403百万円 (△31.5%) 26年3月期第3四半期 589百万円 (10.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	52.30	51.20
26年3月期第3四半期	78.47	76.26

(注) 当社は、平成25年8月21日付で当社普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	5,729	4,621	80.6	598.02
26年3月期	5,419	4,387	81.0	567.81

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,621百万円 26年3月期 4,387百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	22.00	22.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年3月21日～平成27年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,580	0.2	706	△29.5	708	△29.7	332	△41.9	43.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	7,727,400株	26年3月期	7,727,400株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	一株	26年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	7,727,400株	26年3月期3Q	7,507,200株

(注) 当社は、平成25年8月21日付で当社普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

(注) この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善がみられる等、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。反面、個人消費の面では、実質賃金が底堅い動きとなったことを背景に消費者の購買マインドの冷え込みがみられる等、依然として先行き不透明な状況が続いております。美容業界におきましては、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等が続くなか、上記の消費者の購買マインドの冷え込みがサロン※注1経営をより厳しいものとし、当社商品を販売するA・C・Sサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、営業方針を「顧客の創造・顧客の固定化」「カウンセリングの徹底」「知識・技術習得の強化」「年間販促計画(キャンペーン)の活用推進」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指しました。しかしながら、対面カウンセリングを行わずインターネット市場に不正流通を行うサロンとの取引解除やA・C・Sサロンへのフォロー不足の課題が表面化し、厳しい状況が続いております。

なお、A・C・Sサロン登録軒数につきましては、当第3四半期連結会計期間末で6,762軒(前期末比363軒増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,420百万円(前年同期比5.5%減)となりました。利益面では、上記理由による売上高の減収及び連結子会社において、香港のリテールショップ及び東京都港区北青山のサロンオープンに伴う販管費等が増加した結果、営業利益692百万円(前年同期比29.6%減)、経常利益716百万円(前年同期比27.6%減)、四半期純利益404百万円(前年同期比31.4%減)となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)	増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
スキンケア	1,777	49.1	1,421	41.6	△356	△20.0
ヘアケア	2,030	56.1	1,936	56.6	△93	△4.6
その他	116	3.2	321	9.4	205	176.2
売上割戻金	△305	△8.4	△259	△7.6	45	—
合計	3,619	100.0	3,420	100.0	△199	△5.5

(注) 1. イノベーション・アカデミー株式会社(連結子会社)、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)の売上高は、金額が僅少であるため、その他に含んでおります。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、消費税率引き上げの影響を受け高単価商品の買い控えがみられたため、厳しい結果となりました。一方で、前期より顧客基盤の再構築のため、これまで以上に基礎化粧品のアピールに取り組み、少しずつ成果につながっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,421百万円(前年同期比20.0%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、消費者の買い控えの影響を受けながらも、サロン施術向け商品においては好調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,936百万円(前年同期比4.6%減)となりました。

(その他)

10月に新発売したRe:≫≫Natural Colorにつきましては、Re:≫≫シリーズ導入サロンへ積極的に営業活動を行い、今後も引き続き段階的な拡販に取り組んでまいります。MAPシステム※注3におきましては、導入後のサロンフォローや導入見込サロンを対象とした説明会等を引き続き全国各地で行った結果、当第3四半期連結会計期間末における契約件数は245件（前期末比39件増）となりました。また、6月に新発売したFOG SUI（フォグスイ）は当第3四半期も好調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は321百万円（前年同期比176.2%増）となりました。

※注1「サロン」

美容室、理容室、エステティックサロンを指します。

※注2「A・C・Sサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたA・C・S加盟規約を遵守することを確約したサロンを指します。

※注3「MAPシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して310百万円増加し、5,729百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して232百万円増加の3,695百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少136百万円、売掛金の増加205百万円、償還による有価証券の減少99百万円、商品及び製品の増加172百万円、前払費用の増加85百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して77百万円増加の2,034百万円となりました。主な変動要因は、国内子会社の内装工事等による建物及び構築物の増加20百万円、余資の運用による有価証券の取得及び資本業務提携契約の締結等に伴う投資有価証券の増加99百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して70百万円増加の711百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加94百万円、未払金の増加59百万円、未払法人税等の減少96百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して6百万円増加の397百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して233百万円増加の4,621百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加234百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回発表（平成26年10月24日）の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,380,470	2,243,982
売掛金	511,446	716,962
有価証券	99,430	—
商品及び製品	309,865	482,741
原材料及び貯蔵品	32,859	25,843
その他	136,769	235,382
貸倒引当金	△7,660	△9,321
流動資産合計	3,463,180	3,695,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	745,541	766,393
その他	589,296	553,047
減価償却累計額	△296,389	△308,311
有形固定資産合計	1,038,449	1,011,129
無形固定資産	58,012	48,887
投資その他の資産		
投資有価証券	487,157	586,909
その他	372,955	387,473
貸倒引当金	△79	—
投資その他の資産合計	860,033	974,383
固定資産合計	1,956,495	2,034,399
資産合計	5,419,676	5,729,991
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	72,483	166,686
未払法人税等	239,521	142,542
賞与引当金	80,430	48,428
その他	248,103	353,470
流動負債合計	640,538	711,127
固定負債		
退職給付引当金	31,644	31,740
役員退職慰労引当金	311,000	324,499
資産除去債務	25,111	25,338
その他	23,656	16,136
固定負債合計	391,412	397,716
負債合計	1,031,950	1,108,843

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	704,588	704,588
資本剰余金	664,519	664,519
利益剰余金	3,015,917	3,250,052
株主資本合計	4,385,025	4,619,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63	5,519
為替換算調整勘定	2,763	△3,532
その他の包括利益累計額合計	2,700	1,987
純資産合計	4,387,725	4,621,148
負債純資産合計	5,419,676	5,729,991



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年12月20日)
売上高	3,619,372	3,420,321
売上原価	1,227,435	1,220,581
売上総利益	2,391,937	2,199,740
販売費及び一般管理費	1,408,550	1,507,568
営業利益	983,387	692,172
営業外収益		
受取利息	518	2,073
受取配当金	113	146
保険解約返戻金	20,232	985
為替差益	7,947	20,284
雑収入	4,602	590
営業外収益合計	33,414	24,080
営業外費用		
支払利息	2,041	—
借入金繰上返済費用	9,118	—
支払手数料	14,000	—
保険解約損	—	240
雑損失	2,424	10
営業外費用合計	27,584	250
経常利益	989,217	716,001
特別損失		
固定資産除却損	737	9
リース解約損	4,221	1,864
特別損失合計	4,958	1,874
税金等調整前四半期純利益	984,258	714,127
法人税、住民税及び事業税	362,562	322,013
法人税等調整額	32,569	△12,023
法人税等合計	395,131	309,989
少数株主損益調整前四半期純利益	589,126	404,138
四半期純利益	589,126	404,138

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	589,126	404,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	5,583
為替換算調整勘定	—	△6,295
その他の包括利益合計	21	△712
四半期包括利益	589,148	403,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589,148	403,425
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至平成25年12月20日)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月21日 至平成26年12月20日)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。